

# 地震・津波時の対応について

## (1) 本校の状況

本校は現在生徒数112名、常勤の教職員数15名の小規模校です。学区は東西約2.5km、南北約3.8kmと比較的小さな範囲といえます。また、海岸から本校までの距離は約1.5km、校地の海拔は約2mとなっています。

蓮沼地区内は全体的に海拔が低く、約6kmほど西に移動しなければ海拔10mを超える場所はありません。したがって、津波警報等が発令された場合は、校舎や屋上で持ちこたえるしかないのが現状です。



## (2) 具体的な取り組み

津波警報・注意報等が発令された場合の対応

### 〈津波警報・津波注意報が発令された場合〉 〈大津波警報が発令された場合〉

- ・地震による校舎の倒壊の恐れがない場合は、直ちに校舎屋上に避難します。

### 〈校舎に倒壊等がある場合〉

- ・地震による校舎の倒壊等がある場合は、蓮沼スポーツプラザに避難します。

### 〈生徒の保護者引渡しについて〉

- ・警報、注意報発令中は、原則として生徒は帰宅させません。ただし、保護者が迎えに来た場合は引渡しをしますが、学校及び蓮沼スポーツプラザより海側への帰宅はせず、保護者の方も一緒に避難してもらえようお願いいたします。



\*入学後、「緊急発生時の引き渡しカード」を提出していただきます

### 〈大津波警報・津波警報・津波注意報が発令された場合〉

地震による校舎の倒壊等がない場合は、直ちに屋上に避難する。

### 〈校舎に倒壊等がある場合〉

地震による校舎の倒壊等がある場合は、蓮沼スポーツプラザに避難する。

### 〈生徒の保護者引渡しについて〉

警報・注意報発令中は、原則として生徒は帰宅させない。ただし、保護者が迎えに来た場合は引渡しをするが、学校及び蓮沼スポーツプラザより海側への帰宅はせず、保護者も一緒に避難してもらうなどの理解を得る。

本校の高さを実測したところ、3階教室の高さは約8m、屋上の高さは約12mです。ちなみに、学校の校地は海拔1.8mとなっているため、屋上の海拔は約14～15mということになります。

現在、屋上には太陽光発電が設置されていますが、避難スペースとしては十分な広さがあり、300～400人程度の受け入れは十分可能と思われます。

また、校舎の耐震性ですが、平成22年度に耐震補強工事が施され、大地震にも十分な強度があると考えられます。生徒の安全確保はもちろん、隣の保育園とも連携して訓練を実施するなど地域の避難所としての機能を高め、これからも安全な学校づくりを目指していきます。

